

キャリアコンサルティング技能検定1級 学科・論述・面接試験 体験記

平成 29 年 3 月 26 日

1 級受検番号 NO 05F1620002 氏 名 M. Y. (大阪市在住)

■ 1 級技能士を目指したきっかけ
<ul style="list-style-type: none">● 2016 年 9 月で 2 級技能士資格取得から 3 年を経過し、1 級技能士試験の受検資格を得られたこと。● 職場で後輩からアドバイスを求められることが多くなり、“教える側”として責任を持ってアドバイスや指導ができるようになりたいと考えたこと。
■ 当初の勉強法
受検に向けての勉強をスタートしたのは 9 月から。 学科については『キャリアの青本』を中心に 9 月から開始し、論述・面接については 10 月初旬に「1 級技能士の会」の対策講座に出席してから本格的に取り組み始めました。
■ 合格のきっかけ
初回受検でしたので、「1 級に求められていること、1 級と 2 級の違い」を知るために対策講座を受講しました。ここで「1 級に求められていること」をしっかりと教えていただき、「1 級としてのあるべき姿を理解している」ということを試験の場（特に面接）で出せたことが合格につながったと考えています。
■ 学科試験の勉強
<ol style="list-style-type: none">1. 『キャリアの青本Ⅱ』『キャリアの青本Ⅱプラス』『1 級キャリアの青本&赤本』を読み込む2. 赤本 e ラーニング/在宅模試/過去問を解き、不正解の多い分野は特に時間をかけて上記テキストを復習3. 労働白書など、省庁発行のものについては、「検定直前の最新版がいつ出されるか」をチェックしたうえで、最新情報にアップデート <p>1 級学科試験は 5 肢択一ですので、キャリアの理論などについてはキーワードを覚えて「わかったつもり」にならず、内容をしっかりと理解し、限られた時間で迷わずに選択できるようにしておくことが必要だと感じました。</p> <p>白書など政府の施策に関するものについては、「政治的・経済的に、今年はどういった分野にフォーカスされそうか」といった点を把握しておき、関連しそうなデータには目を通しておくとよいと思います。</p>
■ 論述試験対策
<ol style="list-style-type: none">1. 10 月初旬の『短期集中強化講座』を受講2. 受講後は自宅で時間を計って過去問を解く練習3. 12 月初旬（検定直前）に『論述対策 1 日完成講座』を受講し、“自習”で悩んでいたところ、不明確であった部分などをクリアにした <p>2 時間で 2 問という試験時間において「余裕」はありません。「時間内に」「決められたスペースに」「必要な内容を漏れなく書く」ためには、「時間を計って、手で書く」という練習を繰り返す必要があると思います。また、「考えて、まとめる→文章化する→用紙に書く」という手順も、自分なりに消化しておくとうよいと思います。</p>

■面接試験対策

1. 10月初旬の『1日完結ロープレ三昧』を受講
2. 1月初旬（面接直前）に『直前対策総仕上げ講座』を受講
3. 上記講座受講から面接（2月初め）までの約1ヶ月間は、ケース1～3についてシミュレーションを繰り返し行った

私の場合、講座以外にはロープレの練習をする場がなかったので、シナリオを何通りも作るつもりでシミュレーションを行いました。10月の講座で概要を理解→自習（シミュレーション）→1月の講座で修正→試験まで自習（シミュレーション）、という流れです。練習相手のない方も、やり方を工夫されれば受験対策は十分にできると思います。

■受験される方へメッセージ

受験申込直前まで、その合格率の低さに恐れをなして目を背けてきた1級検定でした。初回受験で総合合格できたのは、講座に出席して「1級に求められていること」をしっかりと教えていただいたこと、特に担当講師の熱のこもったご指導、具体的なお指摘、初歩的な疑問や不安な点にひとつひとつ解明していただいたことが大きかったと思います。

私の場合はスタートが遅く、面接日程が早かったので、学科も実技も「時間がない」と焦りながらの受験でした。特に実技（論述・面接）については、もっと時間をかけて幅広く深く準備をしておきたかったと思っていますので、学科に集中せず、論述・面接準備も併行して徐々に進めておかれることをお勧めします。

論述・面接は、「講座での学びを試験当日にどのくらい出せるか」が、合否の分かれ目になるのでは、と思っています。

大変に難しい試験ですが、その分、勉強を進めていく中で得たものも多くありましたし、講座で同じ目的に向かって努力されている方たちと知り合えたことも、モチベーションの維持につながりました。

これから受験されるみなさんも、どうか、頑張ってください。